

## 仙台市博物館協議会（平成 30 年度第 2 回）会議録

1. 会議の年月日           平成 30 年 7 月 31 日（火）
2. 開会及び閉会の時刻   午後 3 時から午後 4 時 00 分まで
3. 出席委員の氏名（五十音順・敬称略）  
尾崎彰宏、小野寺健、菊池勇夫、佐川正敏、佐藤憲子、長岡龍作、濱田淑子、森美智子
4. 説明者の職及び氏名  
館長＝内山淳一、副館長＝高橋三也、主幹兼学芸普及室長＝高橋あけみ、  
庶務係長＝鈴木由美、学芸企画室長＝樋口智之、指導主事＝片寄角洋、学芸企画室主任・記  
録＝水野沙織
5. 議題及び報告並びに議事の要旨
  - (1) 会議録署名委員の選任  
会長と小野寺健とする。
  - (2) 報告事項
    - ① 平成 30 年 5～6 月の観覧者数について（庶務係長報告）  
〔事務局からの報告要旨〕  
「資料 1」のとおり。5 月の入館者数が前年度より増加。企画展「手仕事の日本」による来館者増が要因だと考えられる。
    - ② 企画展「手仕事の日本」の結果報告について（学芸企画室長報告）  
〔事務局からの報告要旨〕  
「資料 2」のとおり。  
〔委員からの意見等〕  
宮城県民芸協会 50 年の節目に展覧会が開催できたことが感慨深い。借用料に限りがあり、借用資料が限られていたのが残念である。しかし、展示は全体的に見やすく、ギャラリー展示やワークショップでもお客様の関心が高かった。  
〔事務局からの回答〕  
当館にとっても企画展の開催によって日本民芸館の展示手法の違いを学ぶ機会となった。また、NHK やトランヴェールなどメディアで民芸が特集される機会も多かったので入館者数増につながったと思う。
    - ③ 特別展「古代アンデス文明展」の中間報告について（学芸企画室長報告）  
〔事務局からの報告要旨〕  
「資料 3」のとおり。

〔委員からの意見等〕

特別展を見学したところ子供連れのお客様が多かった。企画展示室には映像コーナーがあり、展示ケースも密度が高いため混雑時が心配になった。また、全体を紹介する映像を出してから展示を見せたほうが理解が深まると思えた。

〔事務局からの回答〕

アンデス展は資料が多く、仙台展ではパネルや映像を削った部分もある。展示環境については入館者数が増える終盤には対策が必要となるかもしれない。映像を更に増やすとお客様が滞留しスペースも必要になる。交通整理のため今回はやむを得ないとする。

#### ④市史活用推進事業および資料レスキューについて

〔事務局からの報告要旨〕

「資料4」のとおり。

〔委員からの意見等〕

西日本豪雨に関して、現地からのレスキューのオファーはあったのか。

〔事務局からの回答〕

友好館についてはこちらから連絡した。また、被災状況については宮城県資料ネットを通して確認し、希望を聞いて物資を送った。

〔委員からの意見等〕

レスキューの全国的な動きはあるか？東日本大震災の時には今回の被災地から支援はあったか？

〔事務局からの回答〕

文化庁の動きは見えないが、各地で結成された資料ネットが活動している。ただ今回被害の大きかった広島情報は入ってきていない。前の震災の時に広島・岡山からの直接の支援に関しては記憶していない。

〔委員の意見等〕

もし東日本大震災で助けてもらったのなら、支援をお願いしたい。

#### ⑤ 教育普及事業について

〔事務局からの報告要旨〕

「資料5」のとおり。

〔委員の意見等〕

子ども達の自由研究対策として情報資料センターに「教えて館長さん」という相談先を設けて欲しい。またそれを大々的に記者発表して欲しい。

〔事務局からの回答〕

今回から試みとして「調べ学習コーナー」を設置し、ポップなどで親しみやすく紹介している。普及の事業として今後も力を入れていきたい。学校の先生向けには広報しているが、今後は **Twitter** などでも広報する。

⑥ その他

〔委員からの意見等〕

東京の LIXIL で仙台駄菓子店の石橋さんのコレクション展示が行われていた。仙台市博物館も所蔵していたと思うが。

〔事務局からの回答〕

最近展示をしていないが、石橋コレクションは所蔵している。

〔委員からの意見等〕

会津若松では戊辰戦争 150 年を記念したイベントが行われているのか。

〔事務局からの回答〕

会津若松市では明治 150 年ではなく戊辰 150 年をアピールしている。福島県立博物館だけでなく、会津若松城では年間を通して戊辰戦争の展示を行っている。

(3) その他

①その他

次回、平成 30 年度第 3 回協議会は 10 月 31 日（火）15 時からの開催を予定している。